

外国語科学習指導案

単元名 What would you like?

第5学年 男子11名 女子4名 計15名 指導者：黒田 剛弘

1 本単元で育成する資質・能力

「つながる知識」「思考力・表現力」

2 単元観

本題材は、本単元では、英語にも場面に応じた丁寧な表現があることに気付かせることから始まる。レストランという身近な場面を通して、様々な料理などの言い方や、欲しいものを丁寧に注文する表現を聞き取り、丁寧な言葉での受け答えをしたり、値段を聞いたり、答えたりしながら自分の考えを伝え合うことを目標としている。これまでの学習で慣れ親しんだ表現や、語彙を使いながら、場に応じた表現を使ってコミュニケーションをとることの楽しさや必要性を経験し、お互いの気持ちを伝えあう技能を身に付けることのできる単元である。

また、注文をする食べ物の名前を書く活動を通して、アルファベットの活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けることもできる単元である。

3 児童観

レディネステスト等に関する実態

1学期の単元末テストのリスニング問題の平均では、知識・技能が81%、思考・判断・表現が84%、ライティング問題の平均では、知識・技能が85%、思考・判断・表現が82.5%だった。単元末テストの期待値の平均は81.1%だった。

この結果から、全体的に児童は外国語の能力は平均値より少し高めだということが分かる。

しかし、書く活動で、最初の文字は大文字ということや、人の名前の最初は大文字等というきまりを守って書けない児童が多い。

資質・能力に関する実態

質問紙調査を実施した結果、「自分の考えを書くことができる」93%だが、一方で「理由を付けて自分の考えを進んで伝えている」50%だった。このように、本学級の児童は、考えを持っているのに伝えることはできないということがわかる。

4 指導観

主体的に課題を解決させるための工夫

本単元では、既習である“*What ~ do you like?*”などと比較しながら学習を進めていくことで、違いに気付かせ、どのように違うのかということを考えさせ、興味を持たせていく。

また、単元のゴールとして“*570 yen plus 240 yen is 810 yen , please. What would you like?*”と質問し、“*I'd like ~.*”と答えるようなクイズを行う活動を設定する。意欲的に取り組むようにさせることで、児童が目的をもって積極的に学習に取り組むことができるようにする。また、クイズの文章を書くことで、読むこと、書くことにつなげ、自分の考えを相手に伝えることができるようにさせる。

5 単元目標

○外国語も日本と同様に丁寧な表現があることに気付き、この理解を基に、短い話を聞いて、その概要が分かったり、自分で注文を英語で書いたり読んだり、伝えあったりすることができる。

【知識・技能】

○既習を基に、短い話の内容や文章の内容を推測したり、語順を意識して注文を書いたりし、自分の考えを相手に伝えることができる。

【思考・判断・表現】

○主体的に自分のことを相手に伝え、お互いの考えを伝えあおうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

6 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞く 聞く 聞く	<ul style="list-style-type: none"> ○“What would you like? I'd like ～. How much is it? It's ～ yen.”について、理解している。 ○ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすること等について、聞き取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを良く知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすること等について、短い話の概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを良く知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすること等について、短い話の概要を捉えようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。
読む 読む	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットの活字体の大文字・小文字について理解している。 ○アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別したり、その名前を発音したりする技能を身に付けている。 		
話す (インタビュー)	<ul style="list-style-type: none"> ○丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすること等について、“What would you like? I'd like ～. How much is it? It's ～ yen.”を用いてお互いの考えや気持ちなどを伝えあう技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことを伝え、相手のことを良く知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすること等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝えあっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことを伝え、相手のことを良く知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすること等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝えあおうとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、地域の特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝えあおうとしている。
書く 書く	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットの活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けている。 		

5 言語材料

主な表現	語彙
What would you like? I'd like～. How much is it? It's ～yen.	食べ物・デザート rice, riceball, curry and rice, grilled fish, bread, pancakes, pizza, hamburger, etc. 味 bitter, sweet, salty, sour, spicy, delicious, etc. 数 ten, twenty, thirty, hundred.

6 学習指導計画（全8時間）

時	学習活動（○）・児童の気付き（・）	・指導の工夫 【キャリア教育とのかかわり】	学習活動の評価規準 資質・能力の評価 （評価方法）
1. 2	<p>課題の設定</p> <p>○Starting out を聞き，“would”“How much is it?”の意味を予想する。</p> <p>○Let’s Watch and Think に取り組む。</p>	<p>・重要なところは何回も音声を流したり，ALT がゆっくり発音したりして，児童が気づくことができるようにする。</p> <p>・外国の料理を紹介し，外国の食文化に興味を持つことができるようにする。</p>	<p>学習内容に興味を持ち，学習課題に対して，見通しをもって取り組もうとしている。（ノート・発表） 【主体的に学ぶ力】</p> <p>丁寧に注文したり，値段を尋ねたりするやり取りのおおよその内容を理解している（ノート・発表）</p>
<p>クイズ「ご注文はなあに？」を開催しよう</p>			
3	<p>情報の収集</p> <p>○Let’s Listen1 を聞き，登場人物と注文内容を線で結ぶ。</p> <p>○料理の言い方を復唱する。</p> <p>○Let’s Try をペアで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What would you like? ・ I’d like～. ・ OK.～. 	<p>・ “What do you want?” と “What would you like?” の違いに注目させ，店員の言い方が丁寧な言い方だということに気付かせる。</p> <p>・ 友だちとやり取りをすることに抵抗を感じている児童に机間指導を行う。</p>	<p>丁寧な表現で注文したり会計したりしている。（ノート・発表）</p> <p>既習との違いに気付いている。（発表） 【つながる知識】</p>
4 （本時）	<p>情報の収集</p> <p>○数字の言い方を復唱する。</p> <p>○チャンツ“How much is it?”を歌う。</p> <p>○Let’s Try3 を代表者が前に出て行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How much is the ～? ・ It’s ～yen. <p>○Let’s Listen2 を聞き，聞き取った数を書き込む。</p> <p>○Let’s Try4 をペアで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I’d like ～.How much? ・ It’s ～yen. 	<p>・ チャンツをつつすることで，“How much is it?”の言い方に慣れさせ，Let’s Try4 の活動に取り組みやすいようにする。</p> <p>・ Let’s Try4 は代表者にクイズ形式で行わせることで，苦手意識を持っている児童でも楽しみながら行うことができるようにする。</p>	<p>注文した料理の値段を尋ねあったり，メニューを考えて値段を言ったりしている（行動観察・ノート・発表） 【つながる知識】 【思考力・表現力】</p>
5. 6	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○ワークシートに自分が注文したいものを書き込む。</p> <p>○何人かに代表して前で注文してもらい，全体で店員役をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hello. ・ Wellcome. ・ What would you like? ・ I’d like ～. ・ How much is it? ・ ～ is ～yen. ～yen, please. 	<p>・ ワークシートはなぞり書きと，見て写して書くところを用意し，児童が書く事に苦手意識を持たないようにする。</p> <p>・ 全体で店員役する子で，ペアで声を出しにくそうにしている児童でも，発音しやすい雰囲気をつくる。</p>	<p>ペアで注文したり，会計したりすることができる。（ノート・発表） 【思考力・表現力】</p>

7. 8	まとめ・創造・表現 <input type="radio"/> 教科書の料理や ALT の母国の料理などを紹介してもらうことで、他国の料理文化について知る。 <input type="radio"/> 日本のすてきを聞き、外国人から見た日本の料理の印象について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と事前に打ち合わせを行い、母国の料理を紹介してもらうようにする。 ・日本のすてきでは、聞き取りをメインに、何度も流したり、ALT に発音してもらったりして、児童に予想しながら聞くことを意識させる。 	外国の食文化について興味を持っている。 (ノート・発表) 【つながる知識】
---------	--	--	--

6 本時の展開

本時の目標：注文した料理の値段を尋ねあったり、メニューを考えて値段を言ったりする。

【思考・判断・表現】

○見方・考え方

他者との関わりに着目し、目的や場面、状況において丁寧に自分の考えを英語で表現する見方・考え方

○キャリア教育との関連からのねらい

【人間関係・社会形成能力】

- ①友達の考え方や発表の良さを取り入れて、自分の考えや発表を練り直す。
- ②自分の考えと友達の考えを比べながら聞く。

学習過程（4時間目/全8時）

	学 習 活 動	・指導上の留意点 【キャリア教育とのかかわり】 ○評価
見 通 し	<p>1 学習課題をつかみ、見通しを持つ。</p> <p><input type="radio"/>前時を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字の言い方，料理の名前，“I'd like hamburger.”のチャンツを練習する。 <p><input type="radio"/>本時の学習課題の動画を見て，学習の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> 値段から何の料理を注文しているか考え，伝えよう。 </div> <p><input type="radio"/>“How much is it?”のチャンツを聞き，“How much is it?”の意味を考えさせる。</p>	<p>・分かりにくそうにしていたら，動画を何回か流し，予想させる。または，教師がデモンストレーションをすることで意味を感じさせる。</p>

活用	<p>2 Let's Try 3 を行う。</p> <p>○JET が How much is the ～? と聞く。</p> <p>○代表児童に前に出て発表をする。 代表 : How much is the ～? 他 : It's ～ yen.</p> <p>○ペアで行う。</p> <p>3 Let's Listen 2 を行う。</p> <p>○教師が音声を流し, 児童は聞く。 ・児童が要求 (Once more, please.) すれば数回流す。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◇ツール◇「既習」</p> <p>料理の名前や, 90 までの数を活用して, 料理の値段を聞いたり, 値段を答えたりする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・JET や代表にやってもらうことで, 他の児童が言い方に慣れるようにする。 ・聞き取りにくそうにしていれば, "Once more, please." と言わせるなど, 教師と英語でやりとりを行う。 ・児童が音声を聞き取りにくそうにしていれば, JET が発音する。
深化	<p>4 Let's Try4 を行う。</p> <p>○教師と JET で手本を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How much is it? ・ ～yen ～yen ～yen, please. What would you like? ・ I'd like ～. 	<p>○値段からメニューを考え, 英語を使ってメニューを尋ねたり, 値段を答えたりすることができる。(ワークシート・発表)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◇主体的に学習に取り組むための工夫◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段から料理を当てるというゲーム性を持たせることで, 児童が主体的に学習に臨むことができるようにする。 </div>
ふり返り	<p>5 学習をふり返る。</p> <p>・めあてを達成できたかどうか, そして, 振り返りの 4 つの視点から本時の授業を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書きにくそうにしている児童のために, 書き終わった児童のふりかえりを読ませ, 参考にできるようにする。